

平成26年4月10日

担当課	保護・援護課（援護恩給係）
内線	3296、3298
直通	092-643-3301
担当者	野田、草場

ソ連抑留中死亡者遺骨の伝達について

平成13年9月、政府派遣の遺骨収集帰還団により、ソ連抑留中死亡者埋葬地「第7収容所第3370特別野戦病院その1」（ロシア連邦イルクーツク州）から収容された御遺骨のうち1柱について、DNA鑑定の結果、本県出身者であることが特定された旨、厚生労働省から通知がありました。

御遺骨は4月14日（月）御遺族の自宅において、保護・援護課長から伝達します。

1 抑留中死亡者

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 氏名 | 井上 武（いのうえ たけし） |
| (2) 生年月日 | 明治40年8月25日 |
| (3) 本籍 | 熊本県宇土郡大嶽村大字里浦1343番地 |
| (4) 所属部隊 | 歩兵第278連隊 |
| (5) 階級 | 陸軍兵長 |
| (6) 死亡年月日 | 昭和21年10月17日 |
| (7) 死亡場所 | イルクーツク州タイセット地区3病院 |
| (8) 死因 | 胸部疾患 |

2 遺骨受領者

- | | |
|--------|-----------------|
| (1) 氏名 | 井上 敏雄（いのうえ としお） |
| (2) 続柄 | 子 |

3 伝達日時・場所

- | | |
|--------|---|
| (1) 日時 | 4月14日（月）午後3時15分頃
※当日に厚生労働省から御遺骨をお預かりするため、
交通事情等により、大幅に遅延する恐れあり。 |
| (2) 場所 | 遺骨受領者宅（福岡県小郡市） |

4 特定に至った経緯

(1) 埋葬地に係る関係資料概要

ロシア連邦イルクーツク州「第7収容所第3370特別野戦病院その1」埋葬地については、旧ソ連政府から提供された「抑留中死亡者名簿」に342名が記載されており、その提供資料と厚生労働省保管資料を照合調査した結果、「井上武」様が埋葬されていることが確認できた。

(2) 収容状況

平成13年7月12日から8月4日（第1次）、同年9月6日から9月29日（第2次）及び平成20年10月3日から10月17日（第3次）までの間、政府派遣の遺骨収集帰還団は当該埋葬地に埋葬されていた396柱の御遺骨を収容した。

(3) DNA鑑定の結果

当該埋葬地から収容した御遺骨のうち、DNA鑑定用の検体が採取できた330柱とDNA鑑定を希望される御遺族との間で鑑定を実施したところ、平成13年9月13日に収容された御遺骨1柱から上記遺骨受領者と親族関係が存在するとの結論が得られ「井上 武」様の御遺骨と判明した。